

パルスフィールドアブレーションによる左房後壁隔離の オプトアウトに関する情報公開文書

当院の倫理審査委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。この内容に関して同意できない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。本件について同意されない場合であっても、あなた自身の日常診療における不利益は一切ございません。

【実施内容】

パルスフィールドアブレーションによる左房後壁隔離術

【実施責任者】

康生会武田病院 不整脈治療センター センター長 垣田 謙

【対象者】

左房後壁隔離術の適応がある患者

【承認日】

2025 年 7 月 14 日

【対象期間】

承認日から永続的に使用

【目的・意義】

心房細動・心房頻拍の患者様の中には、肺静脈隔離術だけでなく左房後壁隔離術も施行すると再発を抑制できる方がいます。パルスフィールドアブレーションにて肺静脈隔離術を施行する際に左房後壁隔離術の適応があると考えられた場合、従来のアブレーション方法よりもパルスフィールドアブレーションの方が合併症のリスクが低いと推測されているため、パルスフィールドアブレーションカテーテルを用いて左房後壁隔離術を行います。

【お問い合わせ先】

康生会武田病院 不整脈治療センター センター長 垣田 謙
電話:075-361-1351